

## プログラム(指定演題)

1日目 9月2日(土)

12:20～12:30 開会・オリエンテーション メイン会場

12:30～13:15 会長講演 メイン会場

座長：浅野 みどり(名古屋大学大学院)

### 在宅支援サービスにおける家族支援

荒木 暁子(公益社団法人 日本看護協会(前 千葉県千葉リハビリテーションセンター))

15:00～15:50 特別講演・市民公開講座 メイン会場

座長：荒木 暁子(日本看護協会(前 千葉県千葉リハビリテーションセンター))

### 市民と創る地域包括ケア — 患者が看護師に期待すること —

山口 育子(認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長)

16:00～16:50 教育講演 メイン会場

座長：田代 和子(淑徳大学看護栄養学部)

### 認知症高齢者の家族を支える — 名古屋事件最高裁判決を踏まえて

池田 直樹(上本町総合法律事務所 弁護士)

13:30～14:30 フロントランナーズシンポジウム メイン会場

座長：小川 純子(淑徳大学看護栄養学部)  
北川 良子(千葉県立保健医療大学)

### 育成期家族を地域で支える — 子どもと家族が笑顔で共に生きるために —

#### FS-1 保育士が実施する「認可外保育園」における親子支援

村上 トメ子(認可外保育園ファミリー保育室 所長)

#### FS-2 「子ども食堂」を通じた子どもの「暮らし・遊び・学び」の支援

栗林 知絵子(NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長)

#### FS-3 中核地域生活支援センターの個別相談支援と地域づくり

渋沢 茂(中核地域生活支援センター長生ひなた 所長)

アジア圏における家族看護学の交流推進：  
インドネシアからの提言

Family nursing practice in Indonesia: Challenges and opportunities

Agrina (リアウ大学、インドネシア)

『家族看護エンパワーメントガイドライン』の臨床への活用  
—家族らしく地域で生活していくことを支える看護—

池添 志乃<sup>1)</sup>、畠山 卓也<sup>2)</sup>、星川 理恵<sup>3)</sup>、関根 光枝<sup>4)</sup>、松下 由香<sup>5)</sup>、  
野嶋 佐由美<sup>1)</sup>、中野 綾美<sup>1)</sup>、中山 洋子<sup>1)</sup>、田井 雅子<sup>1)</sup>、槇本 香<sup>6)</sup>、  
岩井 弓香理<sup>1)</sup>、升田 茂章<sup>7)</sup>

1) 高知県立大学 看護学部、2) 公益財団法人 井之頭病院、3) 高知大学医学部附属病院、  
4) 日本赤十字社医療センター、5) 高知医療センター、6) 医療法人須藤会 土佐病院、7) 奈良大学

「渡辺式」家族アセスメント／支援モデル その8  
—地域包括ケア時代の家族支援スキルとは何か—

柳原 清子<sup>1)</sup>、木村 藍子<sup>2)</sup>、松本 修一<sup>3)</sup>、三枝 真理<sup>4)</sup>、今井 美佳<sup>5)</sup>、福山 幸子<sup>6)</sup>、  
浅野 悠佳<sup>7)</sup>、樋口薫<sup>8)</sup>、佐藤 律子<sup>9)</sup>、藤村 望<sup>10)</sup>

1) 金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 看護科学、2) 東海大学医学部附属病院 血液内科病棟、  
3) 滋賀県立成人病センター HCU 病棟、4) 東海大学医学部附属病院 移植コーディネイト室、  
5) 佐久総合病院 相談支援センター、6) 在宅療養支援ステーション「楓の風」、  
7) 広島大学病院 先進治療病棟、8) 厚木市立病院 小児科病棟、  
9) 神奈川県立こども医療センター 母性病棟、10) 元東海大学医学部附属病院 重症室

地域密着型・困難な家族についての連携ケース検討会の  
企画・運営方法の検討

津村 明美<sup>1)</sup>、武用 百子<sup>2)</sup>、木村 千里<sup>3)</sup>、牧田 彰一郎<sup>4)</sup>、峰 博子<sup>5)</sup>、菊池 良太<sup>6)</sup>  
山崎 あけみ<sup>7)</sup>

1) 静岡県立静岡がんセンター、2) 和歌山県立医科大学 保健看護学部、  
3) 公立大学法人首都大学東京 健康福祉学部看護学科、4) 静岡県立こども病院、5) 大阪市立総合医療センター、  
6) 大阪大学医学部保健学科 看護学専攻、7) 大阪大学医学部保健学科 看護学専攻

## ストーリーを作成して家族ケアを考える事例検討

式守 晴子<sup>1)</sup>、鈴木 和子<sup>2)</sup>、井上 玲子<sup>3)</sup>、高見 紀子<sup>4)</sup>

1) 聖隷クリストファー大学 看護学部、2) 家族支援リサーチセンター湘南、  
3) 東海大学 健康科学部 看護学科、4) 北里大学病院

## 2日目 9月3日

9:30～11:30 シンポジウム

メイン会場

座長：上別府 圭子(東京大学大学院)  
池田 真理(東京女子医科大学)

### 事例研究とナラティブ

#### S1-1 ナラティブと実践科学の観点からみた事例研究

斎藤 清二(立命館大学 総合心理学部)

#### S1-2 物語る組織をつくる

—組織論研究から家族看護実践へのメッセージ—

宇田川 元一(埼玉大学大学院 人文社会科学研究所 准教授)

#### S1-3 語りが生み出す看護実践の知

山本 則子(東京大学大学院 高齢者在宅長期ケア看護学分野 教授)

13:00～14:30 シンポジウム

メイン会場

座長：辻村 真由子(千葉大学大学院看護学研究科)  
瀬尾 智美(千葉大学医学部附属病院)

### 地域で家族を支える

#### S2-1 患者を支える、家族を支える、地域を支える

武田 直己(たけだメンタルクリニック 院長)

#### S2-2 認知症の人と家族の地域での暮らしを支える認知症対応型通所介護の実践

西 ケイ子(認知症対応型通所介護 デイサービス和良比なごみの家 所長)

#### S2-3 生活者としての家族を支える訪問看護師のかかわり

山崎 潤子(医療法人社団きさらぎ会 緑が丘訪問看護ステーション)

#### S2-4 妊娠期から子育て期にわたる家族への切れ目のない支援の実現に向けた行政の役割

胡内 敦司(松戸市 総合政策部 兼 子ども部 兼 教育委員会学校教育部 審議監)

10:00～11:20 編集委員会・研究促進委員会共催セミナー

第3会場

### 査読をうまく活用して、よい論文に仕上げよう

編集委員会：泊 祐子、伊藤 隆子、上野 里絵、上別府 圭子、河原 宣子、  
茂本 咲子、中山 美由紀、野島 敬祐、深堀 浩樹、真継 和子、  
山口 桂子

研究促進委員会：上別府 圭子、荒木 暁子、池田 真理、上野 里絵、キタ 幸子、  
小林 京子、津村 明美、山崎 あけみ

座長：中野 綾美（高知県立大学 看護学部・教育促進委員会委員長）

関根 光枝（日本赤十字広尾訪問看護ステーション・教育促進委員会委員）

**臨床における家族看護教育について実践事例から学ぼう**

プレゼンター：瓜生 浩子（高知県立大学 看護学部・教育促進委員会委員）

藤井 淳子（東京女子医科大学・教育促進委員会委員）

共同企画者：山口 桂子（日本福祉大学 看護学部・教育促進委員会委員）

中村 由美子（文京学院大学 保健医療学部・教育促進委員会委員）

座長：河原 宣子（京都橘大学）

**家族をユニットで理解するための研究とその成果の利用：  
家族看護学研究法リレーシンポジウム**

シンポジスト：本田 順子（神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域家族看護学分野 講師）

小林 京子（聖路加国際大学大学院看護学研究科 小児看護学 教授）

池田 真理（東京女子医科大学看護学部 看護管理学 教授）

指定討論者：法橋 尚宏（神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域家族看護学分野 教授）

**機能不全家族の問題と回復に向けた介入方法  
—ギャンブル依存に焦点を当てて—**日下 修一<sup>1)</sup>、和田 佳子<sup>2)</sup>

1) 聖徳大学 看護学部、2) 共立女子大学 看護学部

**障害児を養育する家族への包括的支援  
—母親・父親・きょうだい等各家族員の違いに注目して**藤岡 寛<sup>1)</sup>、松澤 明美<sup>2)</sup>、海野 潔美<sup>3)</sup>、市川 睦<sup>4)</sup>、佐々木 実輝子<sup>5)</sup>、  
秋本 和宏<sup>5)</sup>、齋藤 沙織<sup>5)</sup>

1) 茨城県立医療大学 保健医療学部、2) 茨城キリスト教大学 看護学部、

3) 愛正会記念茨城福祉医療センター、4) 茨城県立医療大学付属病院、

5) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科

家族看護実践の事例研究を考える(2):  
「日本の現場発看護学」の開発を目指す事例研究ワークショップ

山本 則子<sup>1)</sup>、山花 令子<sup>1)</sup>、野口 麻衣子<sup>1)</sup>、池田 真理<sup>2)</sup>、辻村 真由子<sup>3)</sup>、  
柄澤 清美<sup>4)</sup>、吉田 滋子<sup>1)</sup>、上別府圭子<sup>1)</sup>

1) 東京大学大学院、2) 東京女子医科大学、3) 千葉大学大学院、4) 新潟青陵大学

「よくある」家族事例から介入を考える  
～もっと家族にできることがあったんじゃないの?～

泊 祐子<sup>1)</sup>、真継 和子<sup>1)</sup>、竹村 淳子<sup>2)</sup>、曾我 浩美<sup>1)</sup>、松本 修一<sup>3)</sup>、平山 五月<sup>4)</sup>、  
赤松 志麻<sup>5)</sup>、八尾 みどり<sup>6)</sup>、石浦 光世<sup>7)</sup>、福嶋 松代<sup>8)</sup>、宮田 郁<sup>5)</sup>、山崎 歩<sup>1)</sup>、  
山岡 愛<sup>9)</sup>、大野 美和<sup>10)</sup>

1) 大阪医科大学 看護学部、2) 関西福祉大学 看護学部、3) 滋賀県立成人病センター、  
4) 淀川キリスト教病院、5) 大阪医科大学附属病院、6) 三島救命救急センター、7) 大阪発達総合療育センター、  
8) 大阪医科大学大学院 看護学研究科、9) 京都学園大学 健康医療学部、10) 新阿武山病院

子どもを亡くした家族へのグリーフケアについて考える

河合 真紀子、坂下 裕子、小鶴 佳苗、佐藤 眞季

子どもを亡くした家族の会 小さないのち

原点回帰! やってみよう現場のための  
「渡辺式」家族アセスメント/支援モデル

櫻井 大輔<sup>1)</sup>、石渡 未来<sup>2)</sup>、森川 真理<sup>3)</sup>、榎本 美由貴<sup>4)</sup>、園川 雄二<sup>5)</sup>、  
澤田 紀子<sup>6)</sup>、藤井 淳子<sup>7)</sup>

1) 神奈川県立足柄上病院 救急外来看護科、2) 横浜市立市民病院 緩和ケア病棟・緩和ケアチーム、  
3) 公立大学法人横浜市立大学附属病院 看護部、4) わそら 街なかナースステーション、  
5) 東海大学医学部附属病院 整形外科病棟、6) 東京医科大学病院 集中治療室、  
7) 東京女子医科大学病院 社会支援部

## 現任の家族支援 CNS による家族同心球環境理論の活用最前線

法橋 尚宏<sup>1)</sup>、島田 なつき<sup>2)</sup>、道上 咲季<sup>3)</sup>、小野 美雪<sup>4)</sup>

1) 神戸大学大学院 保健学研究科 家族看護学分野、2) 神戸大学医学部附属病院 看護部、  
3) 東京医療センター 看護部、4) 草津総合病院 看護部

座長：伊藤 隆子（順天堂大学医療看護学部・大学院医療看護学研究科）

## 難病の子どもとその家族へ夢を

大住 力（公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 代表）

座長：佐藤 悦子（山形県立大学大学院 看護研究科 地域看護学・在宅看護学）

## 電磁過敏症 —WHO の見解—

大久保 千代次（一般社団法人 電気安全環境研究所）

共催：一般社団法人 電気安全環境研究所